

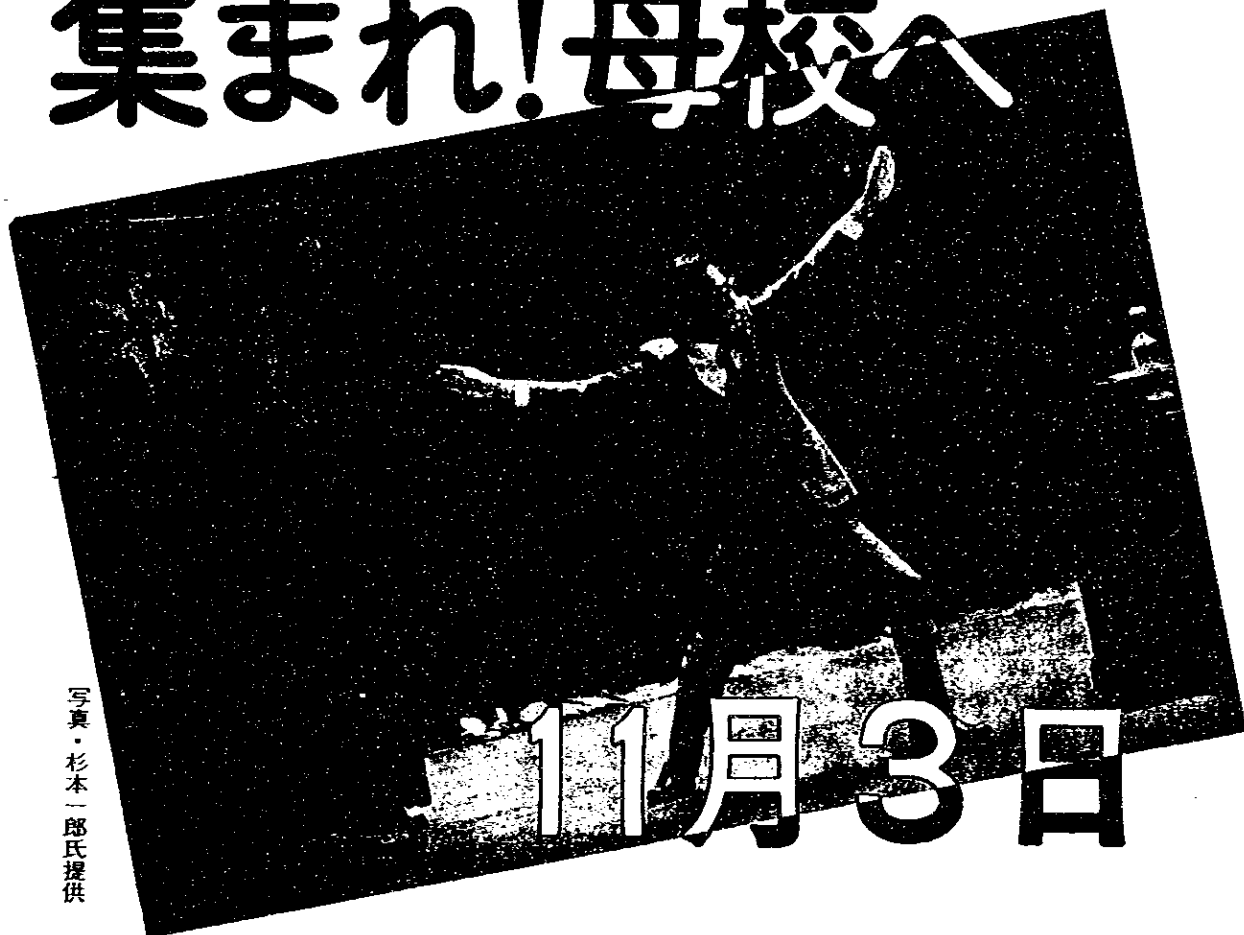
六稜会報

No. 9

1976・9・30

昭和51年9月30日発行
 編集 藤田栄隆・溝脇正巳
 532 淀川区新北野2丁目5-13
 発行 府立北野高等学校内
 六稜同窓会
 電話 06(303)5661代表
 振替 大 阪 6 8 0 2 5
 印刷 藤江コロタイプ
 印刷株式会社
 電話 06(762)1868代表

集まれ! 母校へ



写真・杉本一郎氏提供

11月3日

“ネエ、みんな大きくなったら何になる?”

子供は果しない夢を見ている
 それがやがて、新しい時代を築く確かな
 ものへひろがってゆくのです
 21世紀につながるこの子たちを、
 暖かく伸びやかに
 育ててゆくこと、
 そのために東洋紡も
 お役にたちたいと
 考えています。

It's a Good Life

東洋紡



総会のお知らせ

11月3日

若い層も参加しやすい会に

スポーツ交歓や秘蔵名画公開など

パーティは安くても充実

ことしの六稜同窓会総会は11月3日の文化の日に母校で開催されます。これは昨年の総会で69期と72期の会員から出た強い要望にこたえたもので、ともすれば「敬老会」になり勝ちな同窓会総会に、若い層も参加しやすいよう企画せよとのお言葉とうけとって、役員会でもそのご要望にそえるよう、いろいろと頭をひねりました。

もちろん、これで完全に満足いただけるとは思いませんが、折角若い会員のみなさんのご意見を入れたのですから、すっぱかすようなことなく、大挙おしかけてきて下さい。

なお、主な企画は午後0時からのラグビー、野球などのOB親善試合、午後2時からの総会と手塚治会員（S20）秘蔵の名作映画「ある街角の物語」の公開、それに安くても実力のある立食パーティということになっています。

それで会費は、母校の校章入りの日本手拭までサービスして、なんと2,000円。もちろんビールも出ます。是非、是非ワッとおしかけてきて下さい。

総会は講堂で

パーティは体育館

ことしは母校で総会がひらかれますが、総会議事は午後2時からなつかしのあの講堂で、会務、会計報告や河崎邦夫会長（T14）のあいさつなどが行なわれます。そのあと引きつづいて手塚治会員（S20）の作品「ある街角の物語」が上映される手筈になっています。この映画の終わるのが大体3時半ごろですから、席を体育館にうつし、4時半ごろまでビールの漬をひきながら、つもるお話をさせていただきたいと

いう寸法です。どうかご期待下さい。

なお、これらと併行して会員諸氏の在学時代の絵などが展示されることになっていますので、あなたの作品をさがし出して下さい。

出 ことしは手塚氏

滅多に見られぬ名画

「ある街角の物語」

手塚治会員（S20）は、「鉄腕アトム」で知られている日本動画界の先駆者ですが、今回上映される動画「ある街角の物語」も、芸術祭奨励賞・ブルーリボン賞・毎日映画コンクール賞など幾多の賞をとった優秀作品で、その画面の美しさとペース溢れる全体の流れの中にうつ動と脈うつ反戦思想の叫びが、見る人の心を強く打つでしょう。セリフらしいセリフのひとつもない作品ですが、さすが六稜雄児の作品らしい骨つよしの作品です。一般には公開されていないので、是非この機会にお見のがしなく。

こっそり紹介

パーティのメニュー

えび・ロースハム・ササミソー
セージ・スモークサーモン・若鶏
唐揚げ・オイルサーデン・チーズク
ラッカー・セロリ・たまご・かま
ぼこ・キャビア・すし・ビール・
ジュース。

若返り親善試合

ラグビーと野球

総会開催に先立って、ことしはラグビーと野球のOBたちが親善試合を行います。

このうち、ラグビーの方は、62期の山本次郎理事や60期の日高茂常任理事らが世話役を買って出て、正午きっかりにキック・オフ。約30分にわたって前半の熱戦をOB同士で熱い合い、若さを取り戻したあと、バトンを野球にゆずり、0時半からは、昭和25年に甲子園で優勝をしたチームと現教職員チームとの対抗試合が約1時間にわたってくりひろげられます。この親善試合は今回に限らず時々行なわれているらしいが、現教職員チームが非常に強いようで、かつての甲子園の猛者たちもどこまで「実力」を発揮できるやら、仲々のみもの。当日の好試合が期待されています。

さて、野球が終わると再びラグビー部OBの後半戦。一息入れたOBたちの獅子奮迅ぶりに期待が寄せられていますが、はたして「若き男の子の血は燃えて、一条の生気立つところ」と応援歌どおり行くかどうか。「光まばゆきわがラガー」の健闘に絶大なる声援

年会費をお忘れなく

昨年度から徴収をはじめました年会費のおかげで、事業が非常にやりやすくなったほか、今後の名簿の発行も楽になり、基金会計もふくらんで、近い将来「六稜クラブ」の開設さえ夢ではなくなりそうになってきました。

そんなわけですから、是非とも同封の振替用紙で折り返し年会費をご納入下さい。あとからと置いておくと忘れそうですから今すぐに。会費は年1,000円です。

年会費 1,000円

同封の振替用紙で今すぐご納入下さい
(振替・大阪68025 六稜同窓会)



六稜魂

1975

大阪府立北野高校体育大会

「六稜魂」を進呈

当日参加された会員には洩れなく「六稜魂」の3文字を染めぬいた日本手拭を進呈します。この日本手拭は母校の体育祭で使われる「賞」と同形式ですが、毎年色をかえているそうですので、コレクション・マニアの方は毎年ご参加下さい。

を送って下さい。なお、現役との対抗試合は体力的に無理があるとのこと、今回は見合わせました。

相つぐ企画委員会

総会開催までの裏話

ことしの総会開催に関しては、2回の常任理事会のほかに3回の企画委員会をひらいて、その骨子をきめ、7月16日の理事会で承認を求めました。

久々ぶりの母校での開催については若手会員の熱望もありましたので、そ

の線でご覧をいただきましたが、母校の方にもいろいろと事情があり、かなりむづかしい問題があって、思ったほど簡単には参りませんでした。

しかし、泉錦二校長先生の理解あるおほらいで、一番問題の少ない11月3日の文化の日をあけてもらい、企画の方でも前向きのご協力をいただいて、とにかく親善試合やパーティ、それに母校所蔵の会員作品展まで開けるようになりました。できれば佐伯祐三画伯の遺作展も開きたかったのですが、時価数百万円もする作品の展示には警備も大変ですので、このたびは見合わせることにしました。

また、親善試合の方も、運動場の都合でラグビーと野球を一度にやるのができませんので、時間きざみで正午からと、12時半から、さらに1時半からという風にわけてやることにしました。なお、この件につきましては、田村博孝常任理事(S9)が病氣療養中のため山本次郎理事(S24中・S25)にお世話をお願いしました。

このほか、手塚治会員(S20)の名作上映やパーティの準備一切は、丸野豊子常任理事(S29)の東奔西走の薩の努力の賜であることを申し添えておきます。

写真のことなら.....

杉本写真場



杉本 一郎 (昭和10年 48回生)

豊中市末広町1-1-28(豊中駅西側)〒560

TEL 06-841-7771代

○肖像写真・記録写真・学校アルバム
カタログ・パンフレット.....

○月曜休、駐車場あり、冷暖房完備
併設



アート教室

デッサン、洋画、日本画、水墨画、書道、
いけばな他、美大受験課程

はじめての予算案成立

総会は久しぶり母校で

7月16日の理事会

7月16日夜、阪神グリーンルームで開かれた理事会には、河崎会長は残念ながら出席できなかったが、上野副会長（S3）が会長代行として出席、泉名誉会長とならんで議事の進行にあたった。また、新常任理事の総元締格をつとめてきた田村博孝氏（S9）も療養中のため出席できなかった。田村氏と同期の藤田栄隆常任理事が代りをつとめた。

この理事会では主として会計報告と本年度事業計画の件について集中的に討議が行なわれたが、いずれも前向きな協力的な発言が多く、若手執行部を感激させた。

議事は奥田亘常任理事（S15）が司会役をつとめ、上野淳一副会長が議長となつて進められ、副会長あいさつ、名誉会長あいさつのもと、偉大な先輩八木秀次博士や恩師の小松忠男、川尻伊与一両先生ら物故会員に対する黙祷が行なわれ、引き続き藤田常任理事（S9）から会務報告があった。

その詳細は別掲のとおりであるので省略するが、現時点での卒業生総数計21,320名に対し通信可能会員数がその70%弱の14,273名に過ぎないことが報告され、名簿整備の必要性が痛感された。

次の会計報告では、昨年度から年会費の徴収が行なわれ、2,546,000円の会費収入があったことで、これまでの在校生徒離出にかかる同窓会入会金にたよっていた会計制度を改めるべきではないかという提案が緒方正美常任理事（S15）から出され、六稜同窓会会務の予算案が上程された。

しかし、学校が在校生から集めてい

る入会金（年間約68万円）を収入源とする会計と一本にすることに問題があるとの学校側からの要望もあって、はじめての予算案も二本立てにせざるを得なくなったため、その名称なり、取扱い方などについていろいろな議論が出た。

しかし、最終的には一応学校関係の予算を「一般会計予算」とし、同窓会関係の予算を「特別会計予算」とすることで話がまとまり、51年度の予算は一先ず成立を見た。

次に51年度事業計画については丸野豊子常任理事（S29）から総会開催の件について、会報発行の件については藤田栄隆常任理事からそれぞれ概略の説明があり、意見を求めたが、①総会は11月3日に母校で開催する②総会臨時会費は2,000円とするが、内容は会費以上のものにする③総会は運動部の現役、OB親善試合をエピソードに、

総会議事と手塚治氏の卓話と映画を軸とし、懇親会でフィナーレを飾るほか④卒業生の在学時代の作品（主に絵画）展もあわせ行なうなどがきまり、さらに記念品として母校の体育祭の手拭も全参集会員に配ることになった。

一方会報の方は八木秀次大先輩（M36）の追悼記事と芸能生活40周年を迎えた森繁久弥先輩（S7）の特集「奈落から花道まで」を中心に、各地区、各期の同窓会だより、学校の最新情報などを盛りこんだ「統める会報、にしよ」ということになった。

なお、名簿は前号でもお知らせしたとおり、5年に1回発行ということになっているので昭和53年発行ということになるが、もうそろそろその準備に入るべき時期ではないかということで各年度の理事や幹事に協力をお願いすることになった。

六稜同窓会役員名簿補訂

（S50・10・20以降新任）

理事	住島 鋼一（S・10）
	上野 弘之（S・35）
	西田 純二（S・51）
	石黒 絹子（S・51）



7月16日夜、阪神グリーンルームで開かれた理事会での予算案審議

阪神ゴルフガイドコーナー

藤田(旧姓細谷)政江 (65期生)

コーナー専用電話 06 (341) 2345・5566



阪神百貨店
ゴルフ用品売場 6F

会計・会報・総会企など

51年度初の常任理事会

昭和51年度初の常任理事会が4月16日午後5時から堂ビル9階の清交社でひらかれ、大山、日高両理事を除く全常任理事のほか、学校側からも泉名譽会長、佐々木晃、佐賀真一、溝脇正巳ら各理事が出席して、会計報告や会報の編集方針、本年度総会の企画等について協議した。

まず、会計報告の審議では基金会計が900万円近くになっていること、50年度からはじめた年会費の徴収が順調に進み245万円強も集まったことなどが報告され、六校同窓会の財政基盤が徐々にたまりつつあることは会員の熱意の結晶でもあり、また前会長故寺尾威夫氏(T12)の遺志の賜でもあると意を強くし合った。

この年会費は、その徴収の主旨を生かして、会報発行費(含送料)に100万円、総会運営費に40万円を廻し、残額を基金会計に繰入れようということになった。

また、本年度から予算制をとり入れることとし、予算案を作成することに意見の一致を見た。

次に会報については、前年度よりさらに充実したものにするほか、レイアウトにも新味を出そうということになったが、ことしは故八木秀次大先輩の追悼記事のほか、芸能生活40周年を迎えた森繁久弥先輩の特集記事も盛り込み、いろどりを添える。また総会も従来の慣例を破り、11月3日の文化の日には母校北野高校で開催、野球、ラグビーなどスポーツ分野での在校生とOBとの対抗戦や、北野高校オーケストラを中心とする音楽祭などを企画し、若い若きも年代のへだたりを忘れ、入り混れてゴーゴーのひとつも踊ってほしいという意見も出たが、具体案は

総務と企画担当でタタキ台をつくり、次の理事会にかけて承認を求めることとなった。

事業計画等総括

第2回常任理事会

昭和51年度第2回目の常任理事会は6月23日午後5時半から堂ビル清交社で行なわれ、田村博孝常任理事病欠のため、予算案、理事会開催の件、本年度総会開催に関する企画委員会の具体案などを持ち寄り協議した。

この常任理事会には、藤田、緒方、奥田、丸野ら常任理事のほか、企画委員の山本理事も加わり、学校側からは佐々木、佐賀、作野、飯田の各理事が出席したが、溝脇理事は珍らしく欠席した。

この日の会合では、①予算案の作成

は緒方常任理事(S15)に一任する②理事会は7月16日開催する③総会のさいのOB、現役対抗試合は野球からラグビーのどちらかとテニスの2種とし、具体的計画準備は山本次郎理事にお世話願う、ということがきまったほか、丸野常任理事から、基金充足の一部として風呂敷または趣味の袋を作って会員に販売してはどうかとの提案があったが、製作枚数や資金繰り等の面でなお検討の余地があり、一応見合わせということになった。

名簿作成にご協力を

「六校同窓会名簿」は、昭和53年に発行する予定ですが、名簿編さんには少くとも1年の日子が必要と思われますので、そろそろ各年度毎に資料蒐集の準備にかかって下さい。同じ発行するのなら、できるだけ完璧なものと思えますので、各年度の理事、年度幹事の方々のご協力をおねがいします。

名簿担当は奥田直常任理事(S19)となっていますので、わかりにくいところは奥田常任理事にお問い合わせ下さい。

はじめての予算計上について

常任理事会としては、予算案を1本にまとめたのですが、学校側の都合もあり、監査等の関係で、*一般、と*特別、の2本立てにせざるを得ませんでした。

理事会では、どちらを*一般、にし、どちらを*特別、にするかについて仲々意見がまとまりませんでしたでしたが、これまでの経緯もあり、学校側の意向も尊重して、在学生の入会金を主体とする会計を*一般、同窓会員の年会費を主体とする会計を*特別、とすることにしました。

従来、一般会計で賄っていたもののうち、会費の総会開催に関する部分を総会援助費として特別会計の方へ繰入れたほか、一般会計の中にも名簿積立引当金を計上し、特別会計の名簿積立引当金と合わせて、これから名簿発行をしやすくするようにしました。

このような予算が計上できるようになったのも、年会費が多額集まったおかげです。この収入源をもとに同窓会の基金関係を確立して行きたいと思いますので、是非ご協力下さい。

ダイヤモンド 時計 銀器

尚美堂

大阪市東区淀屋橋

電話 06-202-0161

会 計 報 告

昭和50年度 六税同窓会一般会計報告

1. 収 入	2,341,000円
前年度繰越金	1,300,575円
入 会 費	679,500円
利 息 収 入	129,085円
雑会等臨時会費	330,500円
雑 収 入	2,000円
2. 支 出	1,988,722円
人 件 費	450円
通信・事務費	113,025円
会 費 収 入	616,253円
通 信 費	4,190円
出 張 旅 費	68,964円
庶 務 費	67,340円
記 念 品 料	146,500円
卒 業 祝 賀	72,000円
3. 残 高	1,252,938円

昭和50年度 六税同窓会会報名簿会計報告

1. 収 入	1,438,895円
前年度繰越金	386,795円
利 息 収 入	4,308円
広 告 代 金	967,500円
名 簿 売 上 金	68,400円
寄 付・雑 収 入	11,092円
2. 支 出	1,343,422円
通信・郵送料	375,361円
人 件 費	3,000円
事 務 費	3,250円
基金会計へ	66,800円
会 報 発 行	865,091円
3. 残 高	94,673円

昭和50年度 六税同窓会基金会計報告

1. 収 入	8,985,634円
前年度繰越金	4,077,984円
百周年事業会計振込	
募 入 金	3,455,216円
昭和50年度会報名簿会計より繰入金	66,800円
利 息	985,634円
2. 支 出	0円
3. 残 高	8,985,634円

昭和50年度 六税同窓会年会費会計報告

1. 収 入	2,546,000円
振替振込み口座	2,546円
2. 支 出	88,635円
経 費 手 数 料	88,635円
3. 残 高	2,457,365円

以上の通り昭和50年度の六税同窓会関係会計報告を致します。

昭和51年4月13日

六税同窓会会長 河 崎 邦 夫

本会計報告の正確であることを認めます。

昭和51年4月13日

六税同窓会理事 谷 口 幸 三
調 井 尚 三

昭和51年度 六税同窓会一般会計予算 (51.4.1~52.3.31)

科 目	50年度決算額	51年度予算額	備 考
入 会 費	679,500円	675,000円	入会費1,500円を3年に分けて徴収する 2年500円 生利税50人×3=1,500人
利 息 収 入	129,085	100,000	
雑 収 入	2,000	2,000	
雑会等臨時会費	330,500	0	特別会計へうつす
前年度繰越金	1,300,575	1,252,938	
計	2,341,660	2,029,938	

科 目	50年度決算額	51年度予算額	備 考
人 件 費	450円	10,000円	
通信・事務費	113,025	250,000	
会 費 収 入	616,253	150,000	役員会費用
通 信 費	4,190	200,000	
出 張 旅 費	68,964	100,000	
庶 務 費	67,340	0	
記 念 品 料	146,500	100,000	職員関係のもの
卒 業 祝 賀	72,000	150,000	退職職員に対するもの
名 簿 振 込 引 込 金	0	10,000	紅白旗旗
雑 収 入	0	759,938	
予 算 金	1,088,722	2,029,938	
計	2,341,660	2,029,938	

昭和51年度 六税同窓会特別会計予算 (51.4.1~52.3.31)

科 目	50年度決算額	51年度予算額	備 考
会 報 発 行 費	2,546,000円	2,000,000円	年会費1,000円 2,000人分
経 費 手 数 料	0	200,000	総会等
広 告 収 入	967,500	795,000	50,000×2 30,000×15 17,500×14
名 簿 売 上 金	68,400	48,000	1冊1,200円 40冊分
利 息 収 入	4,308	50,000	
雑 収 入	11,092	10,000	
前年度繰越金	386,795	2,551,978	会報名簿合計 94,673円 会 費 合 計 2,457,365円
計	3,984,805	5,654,978	

科 目	50年度決算額	51年度予算額	備 考
会 報 発 行 費	865,091円	1,000,000円	印刷費、経費費
会 報 送 料	375,361	750,000	
経 費 手 数 料	0	400,000	
人 件 費	3,000	30,000	
事 務 費	3,250	30,000	
経 費 手 数 料	88,635	70,000	
雑 収 入	0	10,000	
名 簿 振 込 引 込 金	0	1,000,000	
基 金 募 入 金	66,800	1,000,000	
予 算 金	1,432,117	5,654,978	
計	2,457,365	5,654,978	

「落ち着いた会」とまずは好評

つづいて、田村博孝常任理事から会務報告が行われたが、年会費徴収が思ったより好成績をおさめ、2,000口、200万円の会費収入があったことは、同窓会への関心の深さを示すもので、将来に明るい見とおしができた、と、うれしい報告があった。また、若い会員の意見も容れ、昭和51年度はひとつ母校で、新しいスタイルの同窓会をひらくよう、常任理事会で検討中であるとの発言もあった。このあと、大島増大坂市長からの梅林春樹に対するお礼を含めた祝福の挨拶があり、守谷一郎阪

時すでに午後4時、お互いにつきぬ名残りを惜しみながら、丸野豊子常任理事（S29）のしみりした閉会の辞で宴は終わった。なお、当日出席された恩師は、保田茂二郎（にいちちゃん）、植村文時（小芋）、平田泰雄（猫）、水島喜平（バー

○…目を痛めてサングラスをかけている田村博孝常任理事もこの日はサングラスをはずして登壇。「黒い会合とまちがえられては申しわけないのでね」とは、さすがに時間柄?

また、出席会員は97名（男78名、女19名）で、招待者10名を加えると全部で107名であった。



昨年総会で一斉に校歌を合唱する会員たち

#62キの

62

期

昭和19年4月 北野中学校 入学・昭和25年3月 北野高等学校 卒業

中学2年のときに学校防衛の宿直で2名の友が空襲の犠牲となりました。高校2年のときに戦後の思想混乱から2名の友が厭世自殺をしました。最上級生になった高校3年の春、野球部が選抜高校野球大会で優勝しました。各運動部とも大活躍をし、黄金時代を築きました。今40代戦中戦後の多感な時代を過ぎた北野6年間の友情は夫々の思想や地位をのりこえ今も固く結びつられています。

62期会事務所 (株)昭和丸筒内 北区堂島中1-25 TEL (345) 3751

[illegible]

盛況！参加者200余名

51年度・第19回総会繁昌記

昨年に引き続き本年度の総会も盛況裡に行なわれた。恒例の日本工業倶楽部を会場として、6月4日午後6時より開会。定刻には大方の会員の参集があり、幹事連も一安心。これまでは、総会の場と懇親会の会場を同じ場所に設営してあったために、来会者には立ち放して総会の議事を進めさせていただくという不便をおかけしていたが、今回よりは、これを改善。総会の会場と懇親会の会場を分離し、総会の席には椅子を用意し、ゆつくりとくつろいでいただきながら議事を進めるようにしたために、好評の聲が高かったようである。

①前田東京六後会長の相変らずお元気にご出席になられてのごあいさつ。

②続いて学校側を代表して、65期生でもあり、同窓会の面顔をみて下さる溝脇先生の学校の近況報告。

③毎年ご多忙のなかを上京して下さる丸野豊子常任理事の六後同窓会報告及び11月3日開催予定の同窓会（大阪の母校で行われる）の案内。巧みな話術で東京会員の多数参加を勧誘される。

④今回の講演は、時節柄万人が等しく関心を持っている「最近の制ガン剤の状況について」というテーマで、60期の奥羽化学工業開発本部副部長・東京研究所長・工学博士 堀田鉄也氏にお願いし、約20分わたって詳しくご報告をいただいたことは有難いことであった。

⑤懇親会は隣の宴会場に準備された立食・模擬店形式のパーティで、30期の元参議院議員・全経連会長である岡原茂喜大先輩の乾杯の音頭が始まり、

8時までの約1時間余、談論風発、哄笑あちこち、青春の一時期に戻っての楽しい一刻でした。

⑥22名の新入会員の紹介、歓迎の拍手に答えて、今年東大に進学された松島みどり君がソプラノで応援歌を唱っての返礼があるなど、若い人もハッスルして会場の雰囲気盛り上げてくれ

たためか、充分に用意した替の焼トリ、おでん、ソバなどが早くも20分位で売り切れ。いささか幹事諸氏を悩ましたハブニングもありました。

⑦小谷雅延君<高25>をソング・リーダーとして校歌を合唱したあと、

⑧高垣仟二朗先輩<39期>より、毎回格別のご配慮をいただいているアサヒビールの中小路茂次常務<58期>への感謝の辞と、会員のドリンク・アサヒの要請があり、続いて明年の20回東京六後会総会において、これまでの総会に賛助、精励された会員諸氏へ些かの記念品贈呈を考えたい旨の挨拶があって、今年度の東京六後会も無事且つ盛況裡に終了しました。

最近の癌治療の話題

<60期> 堀田鉄也

本稿は東京六後会で講演していただいた堀田氏の講演要旨である。

お集まりの方々にご年輩の方も多く、癌というものに関心の多い方も多いかと思ひ、最近の癌治療の動向の一端をお話し申上げるわけですが、何分私は医者ではありませんので、ごく常識的な解説になるかと思ひます。

先ず、癌の治療には、従来手術による主要癌細胞の除去、放射線および抗癌剤による癌細胞の破壊が、従来三大治療法とされてきたわけですが、手術だけでは取残しがあり、後二者は正常な細胞まで破壊致しますので副作用が大きく、体自体の抵抗力と考えられる免疫抵抗力まで著しく落してしまいますので、一時的に癌そのものは良方に向ってもすぐに盛り返して手がつけれなくなるのが実態でした。

最近第4の治療法として注目されておりますのが癌の免疫療法と呼ばれるもので、結核予防に使われるBCGが有効なことが見つかかり、世界的に研究が進んでおります。結核の人には癌がないという経験的事実が理論的に解明されつつあるわけで、結核菌に對する体内で作られた防ぎよ機構が、何かしら癌にも働くのではないかということであり、学問的にいいますと、人間の免疫機構には、体液性免疫と細胞性免疫の2種がありますが、BCGはその両者、特に細胞性免疫を活性化することが判って来ました。細胞性免疫を担当するT細胞と呼ばれるリンパ細胞が、癌の抑制に大いに関係があるとされております。

最近では、私共の会社で開発しました「かわちたけ」という茸の成分に同様の作用があり、BCGのような副作用のないこと、注射でなくて口から服んでも効くことが判り、新しい免疫療法剤として注目されております。

癌の免疫療法は今までの癌治療の壁を打破る可能性のあるものとして期待されていますが、恐らく今後の世界的な研究の成果次第によりすが、私は大いに期待しておる1人であります。

コーヒーは黒い魔女といわれます。
フクダのそれは貴方をチャームします。

珈琲・酒類業務用卸

福田珈琲株式会社

大阪新町 06-541-5231

東京赤坂 03-585-3840

60期 福田規雄

宝石岩倉

TEL 笑面0727 (23) 5050

65期生 岩倉一雄

（旧姓大西）信子

〔電話で御相談下さい〕

明年度20回総会に よきアイデアを

昭和33年に第1回の総会が開催されて以来、多くの先輩諸氏のご努力によって引継がれてきた東京六校会総会は明年に第20回を迎えることになりました。

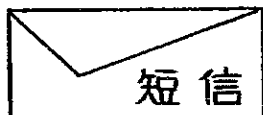
これを記念して、例年とはいささか趣向を変えたものにしたいと、幹事よりより協議中であります。

若い年代の会員諸氏がより多く参加していただけるよう、参考になるご意見、おもしろいプランなどがありましたら是非、東京六校会事務局まで、お寄せ下さい。

明年も6月の初め頃に開催したいと考えております。

東京六校会名簿作成 についてのお願い

20回総会の記念事業の1つとして、東京六校会名簿を改訂したいと計画しております。



女性同窓に瞠目

去る3月14日、広島ではじめて六校会が開かれた。平素、大阪などで開かれている45会（あお会）には仲々行かないが、この日はやはり地元ではあるし……と思い出席した。

同窓の金子広大教授の欠席は残念であったが、新制高校となつてか、女性同窓の出席者には、旧制出身の小生ら「頭の古い、ものには珍らしく思ったものです。」

サンケイ新聞呉支局長から日本工業

東京六校会事務局

〒154 東京都世田谷区若林3-6-18 大山利雄内

電話 03-421-0693

職場の電話 03-356-4087

野村コンピュータシステムKK 常務取締役 大山利雄

前回は、伊波創立100周年記念として、昭和48年4月に作成しましたが、その後、多くの会員の異動等で名簿の改訂が必要のように思われます。

幹事手分けして、名簿作成に努めますが、以上の点で協力いただければ幸甚に存じます。E

①東京六校会に未登録の同窓の方は東京六校会事務局までご連絡下さい。

②ご異動等、連絡切れの方もご連絡下さい。

③高2、高8、高13、高14、高17、高19、高21、高22、高23回生の中で、年度幹事として東京六校会にお力添えいただける方、併せて名簿整理等にご協力いただける方がおられたらご連絡下さい。

④名簿に賛助広告をしていただける方もご連絡下さい。以上

新聞呉支局長（初代）を経て、広島テレビに勤務、停年後は郵政省内新聞で雑文を書いています。

一生雑文書きで、広島で「骨を散らす。」ことになるでしょう。

S7卒・松野富雄

心おどる思い

六校会報№8、敬老の日にいただき、なつかしく拝見しました。

躍進する北野高校と六校会の姿に、常日頃なんのお役にも立たない会員でも心おどる気持ちでした。

編集担当者一同、六校会役員で一同の労を謝し、会員一同のいよいよご発展を祈り上げます。

S26卒・小西曉美（旧姓井手）

岡島先生の個展、大盛況

旧職員の岡島吉郎先生の個展が7月12日から17日まで、北区の中宮画廊で開かれた。

今回はフランスの田舎風景のガッシュが特に注目を浴びていた。

昭和9年から41年までのご在職中、指導を受けた生徒数は数千人にのぼる。いつ会場を訪れても六校同窓会のメンバーで溢れていた。先生のご人徳がしのばれる。

佐伯祐三画伯のマスク戻る

茨城県笠間市の笠間日動美術館から盗まれた佐伯祐三画伯（T6）のライフマスクが昭和50年11月5日、マスクを盗んだ犯人の友人と名乗る男から、東京・銀座の日動画廊へ、「マスクは新宿駅西口コインロッカー498に入れてある」との通報があり、無事元の美術館に戻った。



富山通信

昭和36年卒業の組、浜本伸治と岡本明の2名。共に富山大学文理学部（浜本＝理学科物理学、岡本＝文学科西洋史）で頑張っています。

機械工具・樹脂製品・平和重油ストーブ
〒532 大阪市淀川区木川東1丁目3番24号

株式会社 **ビシビシ**

代表取締役 平佐 国夫（第50回卒）

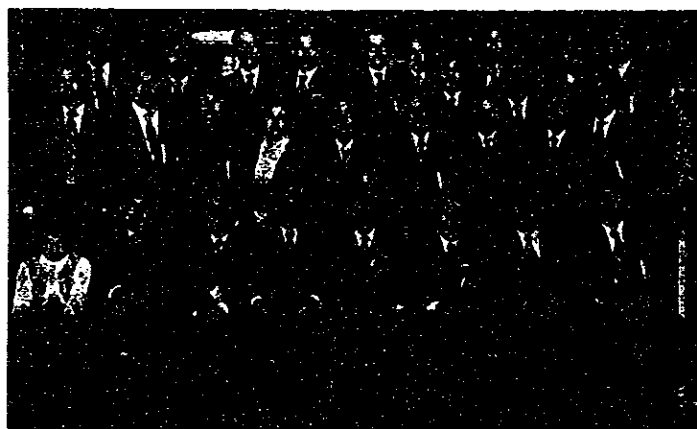
電話大阪06 { (301) 4651-6
(303) 8441-2

支店 札幌・広島・福岡 営業所 仙台・名古屋
富山・高松 出張所 釧路・出雲・大分

登録商標
夕霧そぼ

瓢 亭

梅田新道お初天神東へ入ル
TEL (313) 4045



広島六稜会初会合

東京六稜会の会員竹井泰三氏（59回卒）から、広島地方会員の名簿を送っていただき、第1回広島六稜会を行ないました。

昭和50年3月現在、会員数54名。3月14日、会合当日集まつたのは27名、東京からは竹井泰三、中山茂氏が出席されました。

なお、広島地方六稜会の連絡場所を沢近宏氏（昭和10年卒・48期生、広島市宇品御幸1の17の8）方と決定しましたので消息をお知らせ下さい。竹井泰三氏の努力に対して感謝します。（長谷川光紀・S33）

クスノキを植樹

六稜四八会（S10）総会

母校卒業40周年目の総会は梅雨の合間、6月14日（土）午後2時より母校にて開催、恩師の老先生方、安藤大獅子を始め保田、広田、平田、植村、梅垣、村上、大谷各先生のご出席を得ました。

特に安藤先生は夫人の介添で40年目振りに教え子に逢うために車椅子でご来校になり、出席者を痛く感激させました。

現校長泉樺二先生より北野高校の近況発表あり、一同正門右側の小高い所に六稜四八会より寄贈の楠の植樹式を行ない、恩師の代表として保田先生が録入れし各幹事がそれに続きました。

天候にも恵まれ、初夏の陽光を浴びて、卒業後40年目振りに見る母校周辺の変わりように唯々驚き入るばかり。校庭東側のドブ川も今はコンクリートの塀。隣接する高層マンション等々、感無量のものであったに違いありません。

校友杉本一郎氏（杉本写真場）の記念撮影後午後4時、次の目的地生駒市高山町のサンヨー総合スポーツセンターへ観光バス2台に分乗して出発。

ことし六稜四八会は東京方面よりの参加者が京阪神の地元より多く、高知県在住の井上章夫氏および伊賀上野高

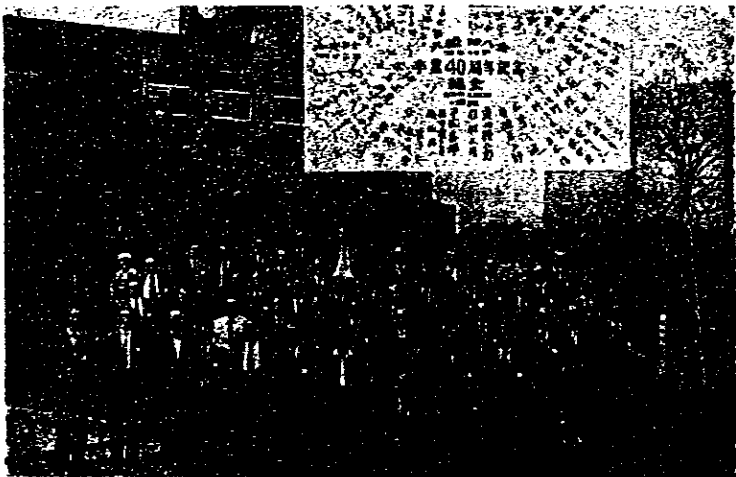
校の祐野忠男インテリア科長らも40年振りに母校を訪れました。

スポーツセンタークラブハウスでの宴会は、久しぶりに顔を合す級友達に夜の更けるのを忘れ、お互いに懐旧談に恩師を囲んで楽しい一夜を過ごしました。

翌朝大阪への帰途、大阪城公園内にある六稜同窓会寄附の梅林、880本を参観、記念碑を囲んでスナップ写真。よき土産話となったことでしょう。

母校々庭に植樹した楠の成長を楽しみに、六稜四八会は今後毎年々々盛大になて行くことでしょう。

（代表幹事 住島）



六稜会

「三七会便り」を続刊

37期生益々健在

私達は第37回卒業生だから、クラス会を「六稜三七会」と名付けて、毎年1回の会合をつづけてきた。大正13年に卒業してから、一昨年は50周年にあたったから、それを記念して「六稜三七会便り」を創刊し、恩師の昔のお写真を集めて、巻頭をかざり、会員のほとんど全員が執筆した。近況を語るもの、抱負をのべるもの、思い出をつづるもの、現代を批判するもの等々、多彩で内容の豊富な会誌ができ上がった。つづいて、昨年は第2号を発行することができ、今年は目下第3号を編集集中である。

年をとるにつれて、昔なつかしきは増すばかりで、年に一度の会合に思い出をあらたにすることを楽しみにしている。今年も6月22日に、大阪警察会館に集まった。当日の出席者は、つぎの通り、お互いにつづがなきを喜びあった。

岩永秀一、一ノ瀬勇夫、大西可美、尾形健作、嘉悦新一、木崎国嘉、古武弥人、島之夫、谷本義盛（東京から）為川甚一、滝川公資、田中清、竹中靖一、野々田景義、早崎良種、橋本薫、松倉豊治、宮嶋四郎、百瀬弘二（岐阜から）山村博三、吉田次郎、弓削経一（京都から）以上22名

× × × ×

東京には10名の同期生が在住し、山本保君のお世話で、毎年、東京六稜会の当日クラス会を催している。

（T13・嘉悦新一）

だより

卒業60周年

大五会記集会

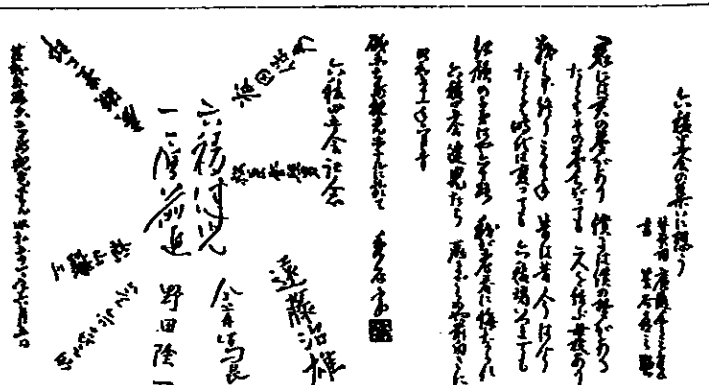
本年は北中卒業60周年に当たりますので、記念出版「老いのたわごと」を15名で執筆発行し更に記念集会を催しました。

4月28日奈良市西大寺の簡易保険保養センターに佐佐保の小田村兄等8名出席。阪神在住の定連6名は用事で不参の電話連絡。東京その他から挨拶状が届けられ、回覧して喜びを共にしました。

見物らしのよい座敷で寛ろぎ、あの時、この時を語り、老いの私達に若い心がよみがえり、なつかしきはつきませんでした。

2年もするとお互いに傘寿の賀を迎えます、老いの命のつきぬ間にお互いにふれあう心求めようと、秋のプランを出しあい、木村幹事長に一任。

好晴に恵まれましたので、時の話題



六稜四五会（東京）意気なお高し

「梅雨空の 磯原海岸 浪高く 六稜四五会 意気なお高し」
集いし面々は寄せ書きの通り。余興の替歌は地元幹事空谷宮之助氏の直筆。
昭和51年6月5日 (S7卒・広瀬豊三郎)

海の幸を求めて 淡の輪に合宿す

42回生—（後友会員）

月一回の尽食会を實行して既に30年近くも続いている。尽下りの放談には新鮮な話題が賑わう、白浜、高野山の合宿を経験した面々。今度は海釣りに出かける。話はずきないが翌朝未明の出陣を考えて前日は時間制限をする。それでも中学時代の歌唱集をプリントにして来たからたまらない。歓声と手拍子とが広間を占拠する、特別参加の植村文時先生の「枯すすき」まできかれる有様である。

大きな発動機船で2組に分れて出る。陸の猛者も海上では仲々勝手が違う。悠々と糸を垂れて獲物をねらう。それでも陸揚げしてみると満足して余りある尽食に舌鼓を打つ。

次の尽食会には更に花が咲くことと思う。(別時書一)

20周年記念に模擬授業

次は男子の修学旅行も

意気盛り上がる66回

卒業20周年記念同窓会を昭和49年に開催した。

恩師18名をお迎えし、出席会員約130名（男子80名、女子50名）の参加を得て、和やかなムードのうちに2教室に分れ、懐かしい恩師による授業を再現した。

「原点にかえって考えよう」という金森先生による化学の講義では、東大理学部教授、その他の大学の教授連を始め、立派な紳士になった男生徒、その中に20年昔のお嬢さんたちも混つて熱心に、楽しく受講した。あたかもタイムカプセルに乗って20年昔にもどったような錯覚にとらわれたものである。

第二部はホテルプラザ23階のスカイラウンジを借り切って、恩師を囲み祝杯をあげた。北の夜景を見渡しながら、時間のたつのも忘れて昔話に花を咲かせた。

それ以後というものは、同期会開催の希望が、年々高まる一方である。

期待に答えるために、在学中果たし得なかった男子の修学旅行を計画し、

ことしの11月3日、六稜同窓会総会後には、2年後に控えた25周年記念同窓会をより充実したものにするために同期会を催す予定である。

なお、66回卒業生20周年記念品としては、学校が最も必要とされている運動用具の購入費用に10万円を寄附した。紙上をもってご報告します。

(丸野 豊子)

つもる話が着

六 稜 四 七 会

ことしも4月7日に

昭和9年卒（47期）の同窓生で作っている「六稜四七会」は、その名に因んで毎年4月7日に会合を持つことにしているが、ことしも同日、大阪梅田の弘文クラブで会食、つもる話を肴に一刻千金の青春をたのしんだ。

この会は現在通信可能な会員150名を擁しているが、当日の出席者は40名で、かつての紅顔の美少年が、お互

いに還暦を迎える年になったと、感慨無量で昔語りをなつかしんでいた。この会では来年も4月7日に再会する。

なお、当日の出席者は次の通り。

秋田一雄、上野富信、小川安彦、小川弘、岡田悦三、北村誠三郎、篠崎健二、杉本一郎、口村茂一、田村博孝、内藤正常、中瀬博次、中林克巳、西尾季夫、野田辰二、野々村尚典、永田正男、浜八郎、日高威彦、久富秀、富田正敏、福井一夫、藤田栄隆、横本淳一、政家恒彦、万谷丈夫、三浦勇、三木博夫、春元信治、守谷一郎、松本正、渡辺新右衛門、吉川正吾、山口正巳、他4名。

16年ぶりの再会

昭和35年卒の同期会

去る4月18日、有志30数名の協力のもとに初めての同期会を大阪中之島センタービル31Fで開き、16年ぶりの恩師や友との再会を喜びあいました。

同期生の多くは関西在住者とはいえ、卒業して16年も経過しているのに、日本各地をはじめ、中には外国で活躍している者もあり、居所をつかひだけでも大変でしたが、当日は恩師の石田先生、博本先生、河原先生、寺田先生、栗石先生、山根先生も出席していただき、遠方から駆けつけてくれた同期生もありで、100名を越すにぎやかな会合となりました。特に女性は卒業生の約半数が出席し、会場はとても華やき(残念ながら在校中に感じられなかったムード?)、なごやかな雰囲気をもりあげました。

現在、有志を中心に住所録の整備、作製を急いでいますが、今後は3年をメドに同期会を開いていく予定にしています。(S35卒 小川誠江記)

おめでとう ございます

昭和50年11月3日の文化の日に叙職をうけられた人たちの中に、次の3名の同意生の名が見られました。心からお祝い申し上げます。

赤木満洲雄氏(T11) 勲二等瑞宝章。星薬科大学教授。元北海道大学薬学部長。平塚市高根207。

伊賀征史氏(T11) 勲二等瑞宝章。国立浜松病院院長。元名古屋大学教授。名古屋市昭和区桑園町68。

板谷健吾氏(T15) 勲三等瑞宝章。日本国産医療団。元文部省課長。東京都品川区在原町7-1-2。

秋田栄之助氏(M43) 勲五等瑞宝章。大阪市北区若松町22。

悲しいお知らせ

■小松忠男先生 51年3月に国漢を教えておられた小松忠男先生が亡くなりました。

■川尻伊与一先生 英語の先生で「赤ブタ」というニックネームで知られた川尻伊与一先生も亡くなりましたが、くわしいことはわかりません。

■武田健一氏 昭和3年卒(41期)の武田健一氏が6月に亡くなりました。西宮市学文段町1-29がご自宅です。

■池田栄一氏 昭和9年卒(47期)で大阪ガスビル常務をしておられた池田栄一氏が8月1日大阪回生病院で結腸

ガンのため亡くなりました。

■小谷勉氏 昭和11年卒(49期)で大阪市大の整形外科の教授をしておられた小谷勉氏が麻痺性腸閉塞のため、8月1日市大病院で亡くなりました。学園紛争のとき奥さまが自殺をされたお気の毒な境涯の方でしたが、その学問的業績は高く評価されています。

このほか同窓会員の方ではキャッチできない悲しい知らせがあると思いますが、ここに謹んで哀悼の意を表して冥福をお祈りします。

ここにも「六稜魂」

40年がかりの大著「世界食用植物事典」

故田中博士、90翁の執念果たす

大阪府立大名著教授田中長三郎博士(15期生)が90才の高令をもかえりみず、40年がかりで研究を積み重ねた「世界食用植物事典」の出版にやっとこぎつけた。世界の食用植物10,800種を網羅した英文で924ページの大著。

「世界的に貴重な文献」と専門家も高く評価しているが、博士は「厳しくなる世界の食糧問題に少しでもお役に立てば……」と控え目に喜びを語られたそう。

この人は、明治36年に北野を卒業した人でかんきつ類研究の大家。日本で広く栽培されている早生温州ミカンは大正13年に発見し、全国に広めた。事典編さんのスタートは昭和初期、台北帝大の教授だったころ。軍部の要請もあって食用植物のパンフレットづくりをはじめ、戦後は東京農大、大阪府立大でコツコツと研究を続けてきた。

「世界食用植物事典」は東京・神田の啓学出版刊。大学ノートより一回り

大きいB5版で厚さが10cmほどもある。英題が「Tanaka's cyclopedia of edible plants of the world」。文部省の学術刊行助成金約460万円も受けて350部作られた。

10年前からカードの分類にかかり、一時動脈硬化症で倒れ2カ月も入院するなどの障害もあったが、長男の豊三郎氏(農林省神戸農林規格検査所農産課長)も家族も応援、やっと昨年春までに原稿を仕上げた。ファイルは段ボール箱8箱分ぐらいになったという。最終的な編集作業は中尾佐助大阪府立大教授が担当した。

豊三郎氏は「父の執念がやっと実った。せいかくやりかけた仕事を老令で断念することなく、完成に漕ぎつけて本当によかった」とホッとした表情だが、ここにも「六稜魂」が生きていたといった感じ。その後、博士は亡くなりましたが、それでもこの労作は永久に残ることだろう。

六稜四八会(昭10年卒)同窓会通知

昭和51年度六稜四八会は本年度の母校での六稜同窓会総会後引続き、左記要項にて行ないますので、何卒万障繰合せの上ご出席の程ご案内致します。

日時 昭和51年11月3日(水)

午後4時半(時間厳守)

場所 北野高校正門内側、六稜四八会植樹附近(昨年6月14日・楠樹)

行事 午後4時40分 貸切バス 母校出発

午後5時頃 大阪ファミリー会館着

午後5時-7時半頃 総会並に懇親会

午後7時半過ぎ 散会

バスにて梅田、新大阪まで送ります。

会費 金6,000円也(当日持参のこと)

注 なお、当日植樹前にて記念写真を撮りますので少し早い目に集まって下さい。

北村誠三郎 (03-421-5157)

幹事 杉本 一郎 (06-341-7771)

前島 敬夫 (06-341-7428)

住吉 新一 (06-203-3031)



奈落から
花道まで

森繁久弥芸能生活40年

その持味をかみしめる

昭和7年に北野中学校を卒業したこの少年は、その年早稲田へ進学した。そのとき、この少年の夢の中に今日の森繁久弥があったかどうか。

早稲田大学時代の演劇部生活が、この少年の前途を決定づけた。しかし、彼が辿った途は決して平坦ではなかった。

大学卒業後、彼は旧満洲に渡った。地道なアナウンサー生

活の積み重ねの中で彼はその素地を練り上げた。終戦の混乱の中でソ連兵の脅迫に遭ったとき、彼は落ち

ついた夫人の機転で危いところを救われた。そして引揚げ。母国での苦難の生活の中で、彼がチャンスをつかんだのは、東宝映画「夫婦善哉」での名演技だった。



この映画は、一躍彼をスターの座に押し上げた。それからの彼の躍進ぶりはめざましい。映画に演劇にテレビにラジオに、その深味のある芸風に紫綬褒章まで

贈られた。「奈落から花道まで」。森繁久弥の歩んだ道は長い。芸能生活40年。森繁よ、もっとがんばれ。

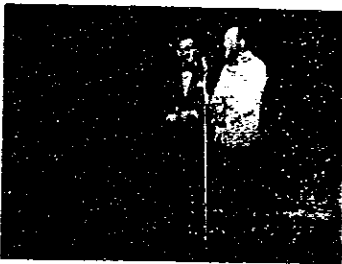
昨年、紫綬褒章を受け、ことしの2月に芸能生活40周年を迎えた森繁久弥氏（S7）の歩みをふりかえりながら「人間・森繁久弥」を浮き彫りにした「奈落から花道まで」と題するドキュメンタリーが、2月4日午後7時半から朝日系テレビで放映されたが、人間臭さのふんふんする森繁の演技や人柄がよくにじみ出て、聴視者の心をなぐませた。また「山根真のバイオリン弾き」を頂点とする芸域の深さや特有の持ち味。「夫婦善哉」の柳吉や「恍惚の人」に見られるたくまじい自然な演技力に、今さらのように感服させられた人も多かった。こういう森繁の味を「関西の味」と評する人もあったが、大阪が育てた芸能人として第1級の人といっても過言ではあるまい。

森繁さんはまた北中時代のことを思い出し、第44期と第45期の両方にまたがっているといっていたが、歴史の答案を白紙で出して落第したことを話しながら、「何しろ名門ですからね」な

どとボけていたところが、いかにも森繁さんらしく面白かった。

最後に「こんばんわ森繁です」のラジオ番組で悩みを聞き、親がわりになってアメリカに嫁がせた桂子さん親子との対面で涙ぐむあたりは、「人間・森繁久弥。のかみしめてもつきない滋味がにじみ出ていて、強く心をうたれた。

今後とも、われらの同窓森繁久弥の健康を祈りたい。 <F>



北野100周年祝典の森繁久弥

好演「道化師の唄」

後援会が総見、花束も贈る

年に一度は故郷大阪の舞台を踏む森繁久弥氏が、昨年11月にも梅田コマで「道化師の唄」を演じた。舞台機構を生かしたサーカス物語で、サービス精神たっぷりの筋運びに観客を充分満足させた。

人望を買われ、矢祭曲馬団長に推された道化師の牛山忠七（森繁）が戦前の暗い時代に苦勞しながら運業を続けている間におこるさまざまなトラブル。それをユーモアたっぷり解決して行く主人公（森繁）の手並みは、やはり森繁のものであった。

曲馬団がサーカスと改称する第2幕から、舞台はいよいよ華やかになり、金ビカの衣裳やシンタの音が、しのびよる戦争の気配の中でロマンチックな陰影をかもし出した。

しかし、最後には兵隊たちの手で動物たちが射殺されて行く。その首を耳にしながらかつてくる森繁の演技には、無言の時代批判がこめられていて観衆の心を強く打った。

この公演には、「六後森繁久弥後援会」が17日夜、特別席を借り切って総見をやったが、劇中、森繁が芦屋雁之助の木戸番に「その席にはどんな連中がくるんや」と聞くと、雁之助がさすが「北野中学の恩師や同窓の人もお見えにはなるそうで」とアドリブを入れるなど後援会への心くばりも忘れなかった。

なお、カーテンコールでは後援会から花束も贈られた。





偉大なる先輩八木秀次博士逝く それでも八木アンテナはのこる

われらの偉大なる先輩八木秀次博士が本年1月19日、90年及ぶ輝かしい生涯を閉じた。しかし、日本全国に並び立つ「八木アンテナ」の林は、博士のこよなき遺産としていついつまでも残るだろう。

われら同窓も、今ここに心静かに博士の卓越した生涯をふりかえり、日本の科学技術の発展のために身を捧げた故人の業績に万雷の拍手を贈ろうではないか。

◇…文学少年の転身…◇

八木秀次博士は明治19年大阪の礼差の息子として生まれた。

愛日小学校、北野中学校、三高を経て明治42年東京帝国大学工科大学工学科を卒業した。

北野中学時代は、むしろ文学少年で、和歌の「明星」俳句の「ホトギス」の流れに投じ、自らも同人雑誌を編集したことがあった。

それが理科系を志望した動機は、動植物界の神秘に感嘆したためだといわ

れている。

大学卒業後、博士は仙台高等工業学校の講師となり、翌年12月には教授となった。25才の若さである。

◇…欧洲留学で芽を出す…◇

大正2年欧洲に留学、ドイツのバルクハウゼン教授のもとで孤光振動に関する研究を行なったが、これがのちにイギリスの電気学者フレミング教授を驚嘆させるような発見の素地を作った。

恰度第1次世界大戦のさ中ではあっ

特 集

■故八木秀次先生略年譜

- | | |
|-------------|----------------------|
| 明治19年1月28日 | 大阪で出生 |
| 同 42年7月10日 | 東京帝国大学工科
大学電気工学科卒 |
| 大正2年2月8日 | 電気工学研究のため3カ年獨逸英米へ留学 |
| 同 8年5月22日 | 東北帝国大学教授 |
| 同 8年7月15日 | 工学博士 |
| 昭和9年9月17日 | 大阪帝国大学教授 |
| 同 17年3月31日 | 東京工業大学学長 |
| 同 19年12月5日 | 技術院総裁 |
| 同 21年2月2日 | 大阪帝国大学総長 |
| 同 24年1月20日 | 日本学術会議会員 |
| 昭和26年10月17日 | 日本学士院会員 |
| 同 26年11月9日 | 藍綬褒章授与 |
| 同 26年11月14日 | 大阪大学名誉教授 |
| 同 27年1月29日 | 八木アンテナ株式会社取締役社長 |
| 同 28年5月2日 | 参議院議員 |
| 同 30年5月7日 | 武蔵工業大学学長 |
| 同 31年11月3日 | 文化勲章授与 |
| 同 35年5月27日 | 八木アンテナ株式会社顧問 |
| 同 42年4月29日 | 銀杯一組賜わる |
| 同 49年4月16日 | 東北大学名誉教授 |
| 同 51年1月19日 | 逝去 |

■昭和51年2月現在顧問などを委嘱されていた団体等

東 北 大 学	名誉教授
大 阪 大 学	名誉教授
日 本 学 士 院	会 員
八木アンテナ	顧問
日本テレビ放送網	顧問
毎日新聞社	編集局連絡部特別嘱託
東京急行電鉄	顧問
(学)五島育英会	理事・総長
(学)亜細亜学園	理 事

たが、動乱の欧洲での博士の研究業績は目ざましいものがあつた。

博士はその後アメリカに渡り、ハーバード大学のピアス教授の研究室に入り、大正5年6月2日に帰朝しているが、この留学期間中に一生忘れることのできない研究のテーマを得た。「無線学」がそれである。

試 薬

石津製薬株式会社

取締役会長 石 津 作次郎 (明治38年卒)
取締役社長(薬学博士) 石 津 一 貫 (昭和13年卒)
常務取締役 石 津 純 正 (昭和17年卒)

本 社 大阪市東区道修町2丁目26 電話(06)231-5003代表
工 場 大阪市鶴見区鶴見4丁目17番の86号 電話(06)911-3786代表
九州営業所 福岡市東区宮松4丁目8番7号 電話(092)611-1561代表

◇…信念の人「八木秀次」…◇

東北帝大に工学部が設けられたのは大正8年だが、博士は34才の若さで教授として迎えられた。工学博士の称号を得たのもその年である。

しかし、当時は同じ電気工学といっても強電工学が主流を占め、博士のやっているような通信工学の方はあまり重要視されなかった。したがって門下生も就職口がないとこぼしていたが、



若き日の八木秀次博士

八木秀次博士語録

- ……人間のこしらえた法律は時代や国によって変る。私は神さまのこしらえた天然の法律をやりたい。
- ……憎まれることは不利益である。しかし憎む人よりずっと多くの人のためになると思えば、自分の損は我慢できる。
- ……科学技術者がよく目覚めて物のわかる頭をもっていると信ずるならば、何のために日本においては科学技術が今日の如き状態であるかということを通して、尊重されるべき科学技術が尊重されず社会に充分の貢献をさせられないという事態を解決するために団結する、この一手が必要である。
- ……利己ばかり考えて、その日その日を暮らす人は地獄に陥るよう心身を労して、とかくしかめ面をしている。気が弱くてものできない自分なんかは、一生で恩返しのためにつもりで人のため世のために働き、犠牲になってもよからうと思ったとき、急に勇気がでてきた。
- ……若い人には平家物語をすすめたい。これは甚だ独断的で人に奇異の感を与えるかも知れないが、平家物語を読むと日本人の長所も短所も露骨にあらわされていて、日本人を作る本だと信じている。

博士は「就職口のあるなしに拘らず大切な研究をやるのが大学人の使命だ」といって譲らなかった。信念の人「八木秀次」の面影がここにもにじみ出ている。

◇…電気学会から異議…◇

この博士を助けたのは東北帝大のアカデミックな学風と斎藤報恩会の経済的な援助であったといえよう。

日本の電気通信の動向を決定づけた偉大な業績が、この報恩会の5年間計20万円の援助で達成された。

電波に関し、アンテナに関し、無線回路、増幅器、真空管、電気音響学などについての研究がそれだ。

しかし、この旺盛な研究活動に電気学会からクレームがついた。弱電関係のあまりにむつかしい論文ばかり出されると退会者がふえて困るというのである。博士は電気学会の役員会に出かけ、「世界の電気応用が弱電方向に進捗しつつあることはすでに存知の筈だ。我々の論文が多く出ることは悦ぶべきことではないか。米国AIEE誌を薦めてもらいたい」と反論した。

◇…八木アンテナの誕生…◇

八木アンテナが生まれたのは大正15年ごろである。この発明には八木博士の高弟宇田新太郎博士の発想が大いに寄与している。

発振器に1本のアンテナを立てると電波はアンテナから四方に発射する。このアンテナに何本かの導波器なる金属棒を平行に並べると、導波器は電波を受けとつては電波をかき集め次の方向へとばす。この電波をうけた次の金属棒、導波器はさらに電波を集めて次へ送る。金属棒の数をふやせばふやすほど電波は導波器の列に沿って流れ、強まっていく。

恰度水がカナル（運河）に沿って寄せ集められながら前に進む感じなので電波カナルと博士は命名した。

八木アンテナの基幹をなす導波器の機構はそういうものなのである。

◇…原子物理学の草分け…◇

昭和10年、東北帝大に付属の電気通信研究所ができた。弱電工学がやっと芽をふきはじめたのである。八木博士の業績が国家的にも認められたわけだ。

その頃には、八木博士も長岡半太郎阪大総長の懇望で大阪大学理学部長になっていた。故郷に錦をかざったわけである。

「将来中性子工学（現在の原子力工学）なる新分野が大いに発展して驚くべき社会的変革がはじまるだろう」と



晩年の八木秀次博士

博士が日本工学会大会の特別講演で予言したことが今はつきりと的中している。博士51才のときの発想である。原子物理学教室がこの発想に基いて阪大に出来た。

◇…レーダーの始祖…◇

第2次世界大戦中、海戦の命運を決したといわれるレーダーの研究も博士の発想で電波研究委員会に提案されたが、あまり重要視はされなかった。しかるにシンガポールとコレヒドールで敵軍から捕獲したレーダーに八木アンテナが使用されていることを知ったとき、日本の陸海軍は自らの立ち遅れにやっとながらついた。が、時すでに遅く敗戦の大きな原因の1つになってしまった。

博士は昭和19年の12月に技術院総裁になったが、彼の科学技術行政が、神がかり的精神主義の軍部のお気に召さず、技術院総裁の椅子を追われた。そしてその年、日本は敗れた。

◇…八木アンテナは残る…◇

終戦後、博士は追放されたが、再審査を求めようとはしなかった。

「自分は愛国者であったからこそ占領軍に追放されたのだ」

この自負が博士を支えていた。アメリカのケース中佐は、この博士の態度を立派だと賞讃した。

博士は昭和30年に武蔵工業大学の学長に復帰するまで社会的分野で大いに活躍している。参議院議員になったのもこのころである。

テレビの研究がそのころからはじまった。今や日本全国にテレビ・アンテナが林立している。恰も八木博士の偉大な業績に「ばんざい」をしているかのように……。

八木博士は逝ったが八木アンテナは永久に残るだろう。日本の通信工学をここまで進歩発展させてきた偉大な先人が、われら六波健児の中から輩出したことに敬意として喜びと誇りを禁じ得ない。

謹んで故八木秀次博士の冥福をお祈りする次第である。

(このページと次のページには旧人・新人の随想をあつめました)

放言、放談の波紋

田村 博 孝

現代人は寛いだ家庭から一步、社会という戦場に出る時は、背広というヨロイを着るが、世の中が複雑になればなる程、その下に敷き切れぬ程の目に見えない衣裳を身にまとうようになる。

虚栄心、警戒心、猜疑心、嫉妬、驕り、教養……………。

古今東西を問わず、大物といわれる人物は、ざっくばらんで、あけつびろげで、虚飾の衣裳を身につけないといわれる。

政治家、三木武吉、今の三木武夫とは別人である。年輩者には「政界の大ダマキ」あるいは「稀代の瘦業師」として印象深いはずである。彼は正初期から代議士となって野武士的な政界人として生き、特に戦後は吉田ワマンと徹底的に対立して、遂に引ずりおろして保守合同を成立させ、鳩山内閣誕生の舞台裏での大芝居をうった政客である。

ある選挙演説会で演壇の三木に反対派のヤジが飛んだ。

「妻を4人も持っているくせに黙れ！」

この攻撃は三木の泣きどころで、反対派にとっては絶好の攻め道具であった。

ところが三木は顔色ひとつ変えず、「いやそれは違う、事実ではない」「うそをつくな。知っているぞ！」毅然となった会場を制して三木はいった。

「4人ではない。2人増えて6人である。いずれも私が若気の至りでねんごろになった女達だが、私の信念として、一度でも醜染になった者には責任を持つ事にしておく。この女

達を捨ててしまった方がええか、それとも面倒を見つづけるべきか、このさい教えていただきたい。」

この三木の人を喰った話に爆笑と拍手が湧き、ヤジは消されてしまった。ユーモラスな放談で、いかにも大物であった。

吉田茂元首相はジョークで相手を煙にまいてしまう話術の持主であったが、放言居士でもあった。学者好みでその意見をよく聴いたと言われるが、東大総長南原繁のワマン政治の批判に対しては、「曲学阿世の輩のたわごと」とつっぱね、一顧だにできなかった。

また、当時の社会党の西村直己(後の民社党委員長)の執拗な質問に対して、顔面朱を注いで「馬鹿野郎！」と前代未聞の答弁をした。

これが有名な馬鹿野郎解散となった。いずれも妥協や釈明を快よしとしない攻めの放言であった。

池田勇人は第4次吉田内閣の通産大臣であったが、「貧乏人は愛飯を喰え、中小企業の2つや3つ位つぶれても仕方がない」と議会で放言したためあっさりクビになった。

吉田、池田両氏のこれらの放言は政界に大きな波紋を投げ、マスコミでも叩かれ通じたが、巷間での二人の人気は逆に益々上昇気流に乗った。人柄がそうさせたのか、不思議な現象であった。

最近、多発する幾多の大事件も躁狂たる日々明け暮れの中に、いつしか忘れ去られようとするにつけ、筆者には、ひそなか記憶が泡沫のように心の中からぶつぶつと浮かんでくる。

神戸祭の前にテレビ対談に招待された有名人であるが、彼は警官が市民が自由に楽しむ祭に出動するのは国家権力の干渉であり、市民の自由と人権を侵害し、市民に対する重大な挑発行為

であるという。レストランの隣りのテーブルにいたヘルメットを持った暴走族らしい数名の若者は「進歩的な事を言えよなあ」と感心しているようであった。

しかし、この映像を見て、筆者にはこの有名人の言葉は、明治中期の自由民権思想の抬頭時から昭和初期頃まで、よく使われた時代遅れの古い言葉であったものが、リバイバルで最近またきまり文句のようにやたらに飛び出し、来る非現実的な無責任な放言で、「またか」と、なんだか野犬の遠吠えのようにしか聞こえてならなかった。一旦事件が起ると「警察は何をしとるか」とくるのは、きまってこの手合いである。

果たせるかな、市民が心配していた通り、新聞記者惨殺、タクシー焼打ちという大惨事が起ったが、筆者がかねて抱いていた想定が、杞憂に終わらなかった事を口惜しむのである。

現代ではテレビは、今日の国民文化という土壌に対して、即効肥料的な効果を持っている。言論の自由を奉じて、無責任にはしやぎ過ぎる有名人や知識人と称する人が多過ぎるのではないか。逆にいえばこういう連中を持ち上げる方も不真面目である。

若者の犯罪に対しても、若者の心情はよく判るが、犯罪に走らせる責任の一半は政治や社会機構、社会環境にあると公然といい張る学者とか評論家が出てくる。こんな甘やかしは絶対に容認されるべきものでなく、むしろ使惑者であり、共犯者である。

このような放言、放談がマスコミで叩かれぬのはどうしたものだろう。

テレビの視聴者こそ知識人であり、評論家でもある。思慮のない無責任なはしやぎは程々にして欲しいものだ。

(東亜実業社長・昭和9年卒)

財団法人洪庵記念会

産婦人科 緒方病院

緒方正美(53回)・緒方正世(54回)・緒方正名(56回)

大阪市東区今橋3丁目18番地 電話 06 (231)・3255・3256・3257

生き続けるか100年の伝統

僕が北野へ入学したのは昭和48年で、幸運にも創立100年を飾るというか、一応は名誉な新入生として出発しました。

そのせいもあったのでしょうか、僕は先生方や先輩から、伝統を守れ、ということをよくいわれたものでした。

ところで、僕達が言われ続けた伝統とは何なのでしょう。

北野100年の伝統は、北野創立以前からあったものではありません。北野の門をくぐり、そして去っていった先輩1人1人が少しずつ、いろんなものを積み上げ、それが時代という器の中でねり合わされ、自然のうちに1本の柱を持つようになったものだと思うのです。

体育祭の時に配られる手ぬぐいにある「六稜魂」にしても、いろいろな時代に生きてきた先輩達の1人1人が作りあげた最高の遺産でしょう。

ですから、伝統を生かし続けるということは、ただそれを伝えていくだけではなくて、そこに新しく何かを加えていくことに他ならないのではないのでしょうか。そのために、時の流れとともに、表面から少しずつ塗り替えられ

途方もない母校

嶋田 善多

この春に母校を卒業、某国立大学に入学して、すでに4カ月。新しい友人もでき、彼らとつき合っていたが、高校3年間を途方もない学校で過ごしたものだと思いつく感じがして来た。というのは、新しい友人達というのは、ほとんどが出身高校では10本の指にはいるぐらいの秀才達、それに比べて私などは10人分ぐらいの指にはいるかも疑わしいぐらいの鈍才で、こんな鈍才を秀才達と肩を並べられるようにしてくれたのは、我が母校である。高校在学中には、どちらかといえば、クラブなどに熱中し、精いっぱい勉強したとはいえない。それでもちゃんと人並みの学力がついているのだから、不思議だ、やはり、北野高校は途方もない学校であると思う。しかし、こんな途方もない我が母校北野高校を卒業したことを誇りに思っている。(100年目の不作卒業生)

西田 純二

ていくとしても、それは仕方のないことですし、そうあるのが本来の姿だとも思えるのです。

ただ、卒業生としてこれからの北野の後輩諸君に希望することは、「六稜魂」が体育祭の手ぬぐいにしか見ることがない、などということにならぬよう、この北野が100年かかって作りあげた伝統に恥じることをない伝統を作りあげて欲しいと思うことです。

そうある限り、北野100年の伝統は200年、300年経っても生き続けることと思います。

苦かった良薬

石黒 絹子

北野高校の運動場を見るたびに思い出するのは授業のことです。北野高校というからには……という甘い考えをいっていたのですが、入学当初からの

体力テスト、なわとびのテスト、断髪など1年中気の休まる時がなかったといってもいいぐらいでした。

特に3年の秋、女子だけが創作ダンスに取り組んだ時ほどいやなときはありませんでした。1つの種で約1週間の創作期間が与えられ、3年女子は朝も昼も放課後も、ダンスにあけくれたようでした。もう2学期も終わりだというのに、昼休みも勉強にはげむ男子諸君を横目に見ながら、みんなの頭にあるのは、ダンス、ダンス、ダンス。

勉強時間が減らされるあせりと、どうして女子だけがこんな目にあうのかという気持ちがかみあって、これほど北野の体育がうらめしかったことはありません。しかし、うらめしさと同時に、ひとつひとつのダンスが完成していくにつれて、みんなで協力してこれだけのものがつくれた！という喜び、満足感というものも生まれてきました。その当時はいやだ、いやだと思いつつやってきた体育ですが、今では楽しいなつかしい思い出となって深く心に刻みこまれています。体育科の先生方、後輩たちをたくましくきたえあげてください！

誌 上 卓 話 ‘5 月 ボ ケ、 47期生 守 谷 一 郎

阪大はまだましな方かも知れないが、大学は学園紛争でひどく荒廃した。紛争初期には中核派集団が主導権を握って、教養部教室や職員会館などを封鎖したが、まだ何かと話し合いはできた。それが次第にエスカレートして、新しく革マル、反帝学評などが出現し、内ゲバが起こるようになって、次第に過激集団と化して行った。

こうして、学生がこういった集団に入って行ったわけだが、その1つの動機として‘5月ボケ、というのを挙げられると思う。

高校時代、受験勉強に熱中し、やっと大学に入ると急に自由になり、目的意識を見失ってしまう。その時期が恰度5月だものだから、‘5月ボケ、と呼んでいる。

この‘5月ボケ、に対応する方法として、阪大では、名誉教授クラスの人たちに、入学早々からイントロダクションをしてもらうことをはじめ、かなりの成果を挙げている。

大学というところは、高校のように、‘教えられ、育てられる、ところではなく、‘自ら学び、自ら育つ、ところであり、‘知識を与えられる、ところではなく、‘身につけた知識をもとにして創造する、ところであるべきである。

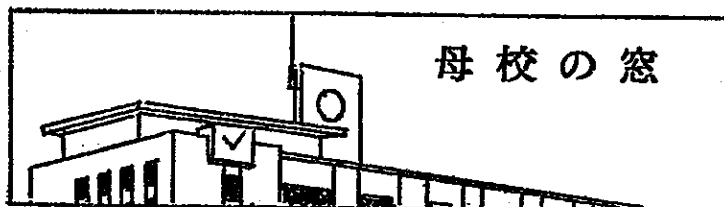
今の大学生は、この肝心なことを忘れてるように思う。

また、大学当局にも問題がある。大学の先生方の自説を絶対に狂げようとしないうののかたさが、よいところでもあり、悪いところでもある。

教育というものは、常に改革に改革を重ねて行くべきもので、終わりというものはないものである。これらの大学のあり方、大学院のあり方についても、常に日進月歩ででなければならないと思う。

＜大阪大学名誉教授＞

＜註＞本稿は昭和50年10月25日の六校同窓会総会における卓話の一部をまとめたものである。



母 校 の 窓

学校の近況について

教 頭 佐々木 晃 (S17)

学校の現状をお知らせするにとの依頼を受けましたが、卒業生の皆様は年次に新旧のちがいがあり、また大阪の近くに住んでおられるかどうかのちがいがあって、学校について、ご理解の程度が様々で、すべての方に向いた説明はとても出来そうにありません。そこで次のような方法をとらせていただいて、何とか責任を果たしたいと思います。つまり、学校の視察に来られるかたが多いのですが、その質問にはほぼ共通の趣があるようで、その質問に答えるという形で、近況の説明に代えさせていただきます。

(問)「本校の入学試験はどうなっていますか。」

戦前は大阪府下全域ばかりでなく、兵庫県からも多数志望していましたが、現在は第1学区つまり大阪府下のほぼ9分の1の地域(北、大淀、西淀川、淀川、東淀川の各区、豊中、池田、箕面の各市、能勢方面)に限定されています。入学者は450名(10クラス)で、男女の比率は、第1学区全体

の公立高校受験者の男女比率にしたがって男54%、女46%となっています。また競争率は1.07倍でした。

(問)「大学入試のために特別の態勢をとっていますか。」

特別の態勢はとっていません。授業時間は月曜から金曜まで1日6時間、土曜は4時間で週34時間です。始業前と放課後の補習はありません。6年間一貫教育をしている私立高校や、一部の地方で週38時間の授業プラス補習授業を行なっている高校に比べますと、授業の内容に苦心しています。また、能力別の学級編成もしていません。なお体育を重視していますが、これは勉強の方に影響を与えています。

(問)「生徒は受験勉強ばかりして、部活動はおろそかになっていませんか。」

今年の部活動への参加率は文化系20%、運動系48%です。毎日放課後の練習のほか長期休暇中も合宿を含めて熱心に練習しています。定時制があるため練習時間は短いのですが、勉強と部活動のスイッチの切りかえが上手になり、いずれにも集中できるタイプの生徒が多いようです。また先輩諸氏の指導がゆきとどき、技術指導ばかりでは

なく、北野の伝統精神を教えてもらい、大学の情報など細かいことまで知らされますので、生徒にとって大変はげみになっています。

(問)「どのような学校行事がありますか。」

入学式は4月1日ですが、珍らしいと思われれます。6月にはかつての男女交流の相手校である大手前高校との間に全生徒参加のスポーツ交歓試合を行なっています。公認の50メートルプールがあるので9月には全員参加の水泳大会を行なっています。新郊鎮走(マラソン)は戦前からの伝統をうけついで、男子、女子とも淀川の河川敷で2月に実施しています。修学旅行は戦後しばらく女子だけが実施していましたが、現在では男女とも参加しています。時期は12月で2泊3日です。本年は北九州方面に行きます。そのほか文化祭(9月)、体育祭(10月)があります。

(問)「特別なことがないので、少しがっかりしました。ほかに北野の教育の秘密はありませんか。」

本校では新奇なことは求めず、あたりまえのことを徹底してやろうと努力しております。それから伝統の力が大きいと思います。先輩から伝えられた北野独特の気風が、知らず知らずに、新入生にも伝わってゆくようです。

以上のことで、近況の説明になりましたかどうか。よいことばかりで恐縮です。色々不十分な点もありますが、よりよい学校をめざして、職員も生徒も努力してゆきたいと思っています。

六 校 文 庫 寄 贈 図 書 一 覧 追加 (S50.8以降)

八十島四郎	敗戦詩抄	北村 学	白節詩抄 三編	河野広五郎 (S8)
河野 兼明	日本改革の理想	中 正敏	詩集 小さな悲願	さくら団地管理日誌抄
岡沢 憲夫	比較政治学	Allen J. Bard著	溶液内イ	中 政敏 本名(太郎兵衛) (S4・4修)
岡	政党政治とリーダーシップ	松田 好晴	オン平衡	詩集 夢の代金
石津作次郎	石津回顧八十年(続)	(S26卒・63期)	共訳 <理論と計算>	注一氏名は寄贈者名です。必しも著者とは限らないこととお断り致します。
芥 澤	喜寿を迎えて	小倉興太郎		
		河野広五郎 (S8)	日本改革の理想	

気軽にお越しいただける
結婚の相談室です
日本ブライダル商会

松原 鉄 男 (68回卒)

TEL 大阪 945-0677

〒540 大阪市東区谷町1丁目42

エルフ大手前415号室

医療法人 天道会
外科 小林 病院

胃腸科・外科

院 長 小林 淳一 (S20年卒)

豊中市東豊中町6丁目24-8

TEL 06-854-1555

大学合格者一覧表 (51. 4. 16現在)

国立Ⅰ期	男	女	計	神 戸 大	1	1	神 戸 市 外 大	2	3	5	竜 谷 大	1	2	3	神 戸 女 子 大	1	1	
北 海 道 大	3		3	名 工 大	1	1	合 計	14	8	22	仏 教 大		1	1	松 蔭 女 子 大		4	
筑 波 大	1		1	岐 阜 大	2	1	私 立	男	女	計	京 都 薬 大	1	8	9	武 庫 川 女 子 大		9	
東 京 大	11	1	12	福 井 大	1	1	早 稲 田 大	31	1	32	立 命 大	8	8	16	英 知 大		1	
東 工 大	1		1	滋 賀 大	2	2	慶 応 義 塾 大	20	3	23	大 阪 医 大	18	4	22	合 計	198	180	
一 橋 大	1		1	京 教 大		2	自 治 医 大	2		2	関 西 医 大	3	2	5	短 大	男	女	
お茶の水女大		1	1	京 工 大	4	1	創 価 大		1	1	大 阪 歯 大	1		1	京 都 府 立		2	
滋 賀 医 大	4	1	5	大 阪 外 大	6	4	中 央 大	4		4	近 畿 大	2	1	3	大 阪 社 会 事 業		2	
京 都 大	78	9	87	大 教 大	3	14	上 智 大	1		1	大 阪 薬 大	1	5	6	大 阪 医 療 技 術		1	
大 阪 大	35	13	48	奈 教 大		2	日 本 大		1	1	関 西 大	14	18	32	金 蘭		7	
神 戸 大	14	24	38	和 歌 山 大	1	1	津 田 塾 大		5	5	追 手 門 学 院 大		1	1	帝 塚 山		1	
鳥 取 大	1	1	2	山 口 大	3	3	東 京 女 子 大		2	2	大 阪 婦 科 女 子 大		2	2	関 西 外 国 語		2	
広 島 大	2	1	3	香 川 大	1	1	大 妻 女 子 大		1	1	関 西 外 大		2	2	京 都 女 子		4	
九 州 大	1		1	合 計	31	24	55	清 泉 女 子 大		1	1	大 阪 体 育 大		1	1	松 蔭 女 子		2
島 根 医 大	1		1	公 立	男	女	計	昭 和 医 大	1		1	大 手 前 女 子 大		1	1	神 戸 女 子		1
合 計	153	51	204	高 崎 経 大	2	2	川 崎 医 大	1		1	天 理 大		1	1	佐 保 女 学 院		1	
				都 留 文 大	1	1	京 都 女 子 大		6	6	関 西 学 院 大	25	31	56	共 立 女 子		1	
国立Ⅱ期	男	女	計	岐 阜 薬 大		1	大 谷 女 子 大		1	1	甲 南 大		8	8	京 浜 女 子		1	
東 京 外 大	2		2	京 都 府 医 大	4	4	岡 志 社 大	61	14	75	兵 庫 医 大	3	1	4	合 計	25	25	
横 浜 国 大	2		2	大 市 大	4	3	岡 志 社 女 子 大		4	4	神 戸 女 子 薬 大		14	14	學 大	男	女	
信 州 大	2		2	大 府 大	1	1	ノートルダム女大		1	1	神 戸 女 学 院 大		13	13	防 衛 大		1	

昨年は「さすが北野・近畿でトップ」という見出しの大阪新聞の凸版を載せましたが、ことしはそうも行きません。国立も49年の338、50年の307に対し、259と落ちましたし、公立も49年の39、50年の50に対し、ことしは22とかなり少くなっています。しかし、全般的にみると、やはり、ある一定のレベルは保っています。

体育館の西半分焼失

母校で火災、原因は不明

昭和51年2月17日午前2時25分頃、母校の体育館付近から火が出ているのを通行人が見付け110番した。淀川消防署などから消防車16台が出動して消火にあたったが、鉄骨鉄板ぶきの体育館1,130平米のうち、西側の半分486平米を焼き、約1時間後に鎮火した。

幸いに東側はコンクリート製の防火壁でへだてられていて焼失は免れた。

焼けた西側の体育館には、柔道・陸

上競技・山岳・バレー各部の部屋があったが、定時制の生徒らは午後10時までに帰宅しており、火災の原因はわからない。

○教職員移動 3月31日付をもって高田貞子(家庭・S25年赴任)・玉井秀雄(数学・S26年赴任)の両先生がご退職。また、川副昭人先生が本校定時制の方にて転勤になりました。同時に三橋賢市(数学)・松下勇(体育)の新任の先生が着任されました。

○表彰 前事務長の杉本二一先生がこの4月に紺綬褒章を授与されました。

○施設・設備 本館各階の廊下の端に、盗難火災予防のシャッターが設備されました。また、雨漏りの防水工事も完工しました。

○貴重資料ご寄贈 故阪倉萬太郎氏の遺品整理中にご遺族(篤義氏)が、古い「六校」や「会報」を発見、母校にご寄贈下さることになりました。▷「六校」14号(明治32年)、同18号、同20号〜27号、同30〜33号、同35号。▷「会報」1、2、4、5、6、8、9、号。▷「六校同窓会報」1号(大正13年)〜3号、同6〜11号。

業務用食品・洋酒・純水

日本氷菓

本社 大阪市北区太融寺町76-2

TEL 312-8991 (代)

(61回 古川)

運輸、保管、梱包、荷造

中村運輸倉庫株式会社

(60期) 中 村 喜 一

本 社 大阪市東成区中本4丁目2番12号

TEL 972-1774 (代)

営業所 門真・鶴見・鴻池・和泉(万町)・
菱江第1・第2



運動部

《ラグビー》

第55回全国高校府予選では、1回戦で泉尾に22-12で勝ち、2回戦でも貿易学院高に21-0で勝ったが、3回戦で浪商に4-43で敗れた。また、本年初頭の近畿大会府予選では、2回戦で大阪高に54-4、3回戦で富田林に25-6、準決勝で東淀川に10-6と順調に勝ち進んだが、またまた決勝戦で浪商と対戦、6-78のひらきで敗れた。一方、春の府民大会兼国体一次予選では桃山学院高（抽せん勝ち）、夕陽丘高（52-3）、東淀川高（21-7）を次々に敗り、ブロック優勝をした。しかし、6月の二次予選では、市岡高に14-12で勝ったものの、準々決勝で惜しくも天王寺に7-19で敗れた。

なお、定期戦の戦績は次の通り。

- ▶対洛北（勝）44-2 ▶対天王寺（勝）23-13 ▶対神戸（勝）23-10
- ▶対徳島城南（引分け）16-16 ▶対徳島城南（勝）22-8

《サッカー》

国体予選では浪商に2-1で敗れたが、近畿大会の府予選では、科学技術学園東淀高（3-1）、高槻南高（5-2）、福島高（2-1）、島上高（3-2）らにリーグ戦で勝ち、豊屋川高にも3-0で勝った。しかし阪南には3-1で敗れた。

全国高校総合体育大会府予選では、東淀川高（7-2）、千里高（4-3）、東豊中高（3-2）の3校には勝ったが、四条原高には1-4で敗れた。

定期戦の方は、麗所高とは0-0で

引分けだったが、天王寺高には2-0で勝った。

《男子庭球》

昭和50年の府民大会予選ではベスト10、2年藤原、1年小若、細川らが近畿大会に出場した。10月の選抜国体戦ではA・Bともにベスト16。本年2月の大阪ジュニアではベスト4、細川、ベスト8、光森。4月の高校総体予選ではベスト8、藤原。同3次予選では小若、佐原が決勝で敗退した。一方、高校総体団体予選は、ベスト8。7月の関西ジュニアには藤原、小若、佐原細川が出場した。また定期戦の方は、天王寺とは12-3で、市岡とは7-4で快勝した。

《女子庭球》

大阪高校総合個人戦では、シングルで竹内と野村が共にベスト8（近畿ベスト8）、ダブルスで安田・野村組がベスト3に入り、団体戦では、Aチーム（田中・長村・竹内・野村）がベスト16に入った。

また、インターハイ予選の個人戦では、竹内が2次予選で敗れ、団体戦本戦も2回選で敗れた。

一方、定期戦の方は、対天高戦に11-4で勝ち、対市岡高戦でも7-4で勝った。

《バレーボール》

◆男子 近畿大会（昨年7月）では福知山高に0-2で負け、国体予選では2回戦で佐野工高に2-0で勝ったが3回戦で明星に0-2で負けた。8月の府立高校普通科大会では、1回戦で天王寺に2-0で、2回戦で東住吉に2-0で、3回戦で茨木に2-1でと勝ち進んだが、4回戦で登丘美に0-

2で敗れた。秋季部別（リーグ戦）は住吉と1-2で負け、泉北と2-0で勝ち、桃山学院と0-2で負けとあまりよるわなかった。本年春の高校バレー（府予選）では、2回戦で豊屋川に1-2で負けた。春季部別リーグ戦はオール負けで氣勢が上がらなかったが6月のインターハイ予選では5回戦にまで進出しながら藤井寺に0-2で敗れた。

◆女子 国体予選は大阪女子学園に2-0で負け、府立高校大会も2-1で登美丘に負け、秋季部別では2回戦で西成に2-0で負けた。しかし、春季部別では2-0で白菊に勝ち、豊芸にも勝ったが、2回戦で住吉に2-0で負けた。

一方、定期戦（対天高戦）の方は、男子が2試合とも勝ったのに対し、女子は2試合とも負けた。

《陸上競技》

大阪高校選手権で、白石愛明は200m予選で1位、準決勝でも1位をとったが、決勝では22秒8で4位となった。また、400m予選では2位、準決勝で1位となったが、決勝では51秒3で5位におちた。

一方、山本達男は800m予選で1位、準決勝でも1位、決勝で2位（2分1秒1）の好記録をのこした。

また、1500m予選では2位だったが決勝では4分9秒1で1位となった。

1500m SCの金水正は、予選で3位に入ったが、決勝では4分44秒2で8位におちた。

400mリレーの田中、白石、北村、藤田は予選で2位、準決勝で3位と好調だったが、決勝では準決勝の記録を割り、3分30秒で6位となった。

近畿高校選手権では白石愛明が200mと400mで活躍したが、自己記録は更新しながらも、それぞれ7位と8位に終わった。

《柔道》

天王寺高との定期戦では1-5で敗れた。

《剣道》

団体予選では、1回戦3-2で成器高に勝ち、2回戦3-2で近大附属に勝ったが、3回戦で清風に4-0で負けた。

北摂学校剣道大会では、1回戦3-1で箕面東に勝ち、2回戦3-2で豊中を屠り、準決勝でも4-1で大阪高に勝って決勝に進み、決勝では4-1で関大を倒して優勝した。

一方、新人戦では1回戦4-2で大手前に勝ったが、2回戦では4-3で上宮に負けた。

インターハイ予選の方は、1回戦で浪速工に4-0で、2回戦で山本に3-1で、3回戦で富田林に3-2でそれぞれ勝ったが、4回戦で浪速に4-1で負けた。

このほか大阪府剣道優勝大会では、1回戦で豊中に4-1で敗れた。

恒例の天高戦は、男子7人戦は4-2で北野の負け、男子11人勝抜き戦は4-0で北野の勝ち、女子3人戦は2-0で北野の勝ちと、戦績はよかった。

《山岳》

山岳部では5月の1日と2日に比良登山、5月30日に新人歓迎会、6月19と20日に北山登山をやった。

文化 部

《放送》

わが放送部は、朝と昼の定時放送を軸に、特に今は文化祭に向っての活動を開始しています。毎年1年から3年まで、そしてOBの方々と、放送部総動員で放送劇をやります。どうぞご期待下さい。

《オーケストラ》

あと4年で部ができてから50年、一時はうまくいかなかったコーラス部との仲も、近年合同演奏がきっかけで次第によくなり、昨年の文化祭ではモーツァルトの「レクイエム」をやるまでになった。技術の方はともかくとして、年4回演奏会は欠かさず行なっています。

《コーラス》

50年度文化祭演奏は、組曲「雨のファンタジア」(渡部節保)、と「レク

無念! 4回戦で敗退

＜夏の高校野球府予選＞

得意の‘先制、も空し

浪速球史の草分けは、明治20年代の堂島中(現、北野高)からはじまるといわれているが、今や夏の景物となった甲子園の全国高校野球に、「ことしこそは……」と意気込んでいた北野の野球部が、惜しくも4回戦(府予選)で明星に敗れ、甲子園出場の機を逸した。

さる7月21日の朝日新聞には「見事な奇襲・よみ返った古豪・北野」と、一時は‘伝統復活、もとの期待を寄せられ、清水治一監督の快心の試合運びが伝えられた。

緒戦は不戦勝、2回戦では汎愛を6-0で完封し、3回戦で大阪学院を3-1で屠った北野は、その余勢を駆って明星をも奇襲戦法で封じろかと思われたが、明星の‘力’の攻撃、には勝てず、9-1のコールドゲームで惜しくも敗退した。

四半世紀ぶりに雪辱を果たした明星の

松田監督は昭和25年に明治高校の7番打者として甲子園に出場、準々決勝で清水監督のひきいる北野勢に7-5で敗れた苦い経験をもつ。

一方、北野は敗れはしたものの、夏風をうけてはためく六段旗。スタンドにはふじ色のスクールカラー 約400人が陣どって、久々の上位進出に湧いた。

＜北野ナイン＞

投手	坂平	秀雄(3年生)
捕手	吉崎	真人(3年生)
一塁手	降矢	純(2年生)
二塁手	森田	都史(2年生)
三塁手	栗林	正(2年生)
遊撃手	山本	清(3年生)
左翼手	●岩田	松雄(3年生)
中堅手	金子	孝史(3年生)
右翼手	谷本	弘二(2年生)

＜●印は主将＞

イエム、K、626より」(モーツァルト)他を演奏し好評を博した。第2回茨木高校交歓演奏会では、組曲「心の四季」(高田三郎)、「レクイエム K、629」他を、50年度度6校交歓音楽祭でも同じ曲を演奏、他が下手だったため目立った。51年度新入生歓迎演奏会では組曲「盆地—都城をうたう」(川口晃)、「美しく青きドナウ」(ヨハン・シュトラウス)他で、楽しさいっぱい。毎日ホールで行なわれた第2回讃歌コンサートでは「紫紺の闇」(東京商大予科讃歌)、「嗚呼玉杯に」(一高讃歌)他を演奏、大学の合唱団中心の出演であったが奮闘、NHK-TV出演の候補となったが、京都府立医大合唱団にとられた。

今年の文化祭演奏会には、組曲「水のいのち」(高田三郎)、「オラトリオ『メサイヤ、より』」(ヘンデル)、「バビロン河のほとり」(パレストリーナ)他を予定し、ご満足のいく演奏をやろうと目下取組み中。

《演劇》

50年11月に行なわれた大阪府高校演劇コンクール(港北地区)に出演、努力賞をとった。

《写真》

ことし4月17日に行なわれた増進会主催の各大学入試風景写真公募に、金原稔幸、米田節(いずれも3年生)の作品「大阪大学風景」が入選、賞を受けると同時に表紙にも掲載された。

《ESS》

来校したアメリカ人と、日米の教育法のちがいを、ロッキード問題などについて語り合った。また、大阪大学のESSを訪問、「Daily Practice」についてのディスカッションを見学した。さらに5年ぶりに年誌を発行、オリジナル作品と百人一首の英訳を載せたほか、はじめて新聞も刊行、大学訪問の感想を載せた。



最新の技術と50年の経験を生かしたコンプレッサー及空圧製品の専門メーカー

株式会社 田邊空気機械製作所

本社・工場 大阪府長津市千早丘2丁目14番6号 ☎代(06)(308)11331
名古屋工場 愛知県小牧市大字小牧800番地 ☎代(0568)(76)4191
東京支店 東京都中央区日本橋通町1丁目6番地 ☎代(03)(279)2481
名古屋営業所 愛知県小牧市大字小牧800番地 ☎代(0568)(76)4191
広島営業所 広島市広瀬町-6-8 ☎代(0822)(32)8538
九州営業所 北九州市小倉区浅野2-17-46 ☎代(093)(531)1305

六 稜 同 窓 会 会 則 (昭50.4.11改正)

第1条 本会は六稜同窓会と称する。

第2条 本会は会員・特別会員をもって組織する。

1. 会員は大阪府立北野高等学校及びその前身校の卒業生及びこれに準ずる者。

2. 特別会員は母校の教職員及び旧教職員。

第3条 本会は会員の親睦を図り母校の発展に寄与し社会公共に貢献することを目的とする。

第4条 本会に次の役員を置く。

1. 名誉会長 母校々長を推す。

会長 1名 理事会の推薦により会員中より選出する。

副会長 若干名 会長が会員中よりこれを委嘱する。

常任理事 若干名 理事中より互選し会長がこれを委嘱する。

理事 若干名 年度幹事 若干名 第5条の規定により推し会長がこれを委嘱する。なお理事については必要と認めるときは会長が委嘱することができる。

監事 若干名 会員及び特別会員中より会長がこれを委嘱する。

2. 名誉会長は会長の委嘱により本会を代表する。

会長は本会を代表する。

副会長は会長を輔佐し、その職務を代行する。

常任理事は常任理事会を組織し、重要事項を協議する。

理事は理事会を組織し重要事項を協議する。

監事は本会資産の管理に任じ、収支決算の監査をする。

年度幹事は各年度会の運営をはかる。

主事は本会の事務を分掌する。

3. 役員の任期は何れも2カ年とする。

4. 顧問を置くことができる。

第5条 会員は年度毎に年度会を組織し、理事1名(但し63回以降は男女各1名)及び年度幹事若干名を選び本会に報告する。

第6条 本会の経費は会費、寄附金、その他の収入をもってこれに充てる。

第7条 本会は次の事業を行なう。総会の開催、会員名簿、会報の発行、その他。

第8条 本会の会計年度は4月より翌年3月までとする。その常務は主事これを取扱い理事会の承認を得て前年度の決算を会報に掲載する。

第9条 本会則の改正は総会又は理事会の決議を経なければならない。但し緊急を要する事項は常任理事会が議決することができる。この議決は最も近い総会又は理事会において承認を得なければならない。

附 則 本会事務の執行に関して必要な細則は理事会の議決を経てこれを定める。

〒532 大阪市淀川区新北野2丁目5-13

大阪府立北野高等学校内

六 稜 同 窓 会 事 務 局

TEL 06-303-5661 (代) ・ 振替 大阪 68025

編 集 後 記

〇……2回目の編集ですが、ご満足いただけたでしょうか。予算がしばらくはありますので、この程度が精一杯かと思います。弁解はこれくらいに。

〇……東京六稜会からのご注文で特に「スペースを削ぎました。また、総会案内(宣伝?)にも2ページを削ぎました。是非ご参集下さい。

〇……療養中の田村博孝君からの寄稿や新人の寄稿など、一味変えてみましたが、如何なものでしょう。

〇……八木秀次大先輩、森繁久弥先輩らの特集記事が光彩を添えています。六稜健児の意気高しといったところでしょうか。

〇……各地、各期の六稜会日より、母校の窓など、かなり賑かになりましたが、今後ともどうぞよろしく。

〇……写真や凸版をできるだけ沢山使いましたので、少し見やすくなったかと思えます。でも「読める会報」にするなどどとっかいことをいった手前、少し心配です。不手際な点はアマの悪しきとご容赦下さい。

〇……いつものことながら、どうぞ年会費をお忘れなく。

<藤田>

名簿出納

1. 年度始在庫 681冊
(No1~No136+1冊)
2. 売 上 57冊
贈 呈 2冊
事 務 用 4冊—索引など
63冊
3. 残 部 618冊
(No1~No84、No89~No127
以上倉庫、別に3冊校長室)



株 式 会 社 鴻 池 組

取 締 役 社 長 鴻 池 藤 一